



# Xin Chao! Vietnam

## ベトナムからこんにちは！

ベトナムの様々な情報を皆さまにお届けしているこのコーナー。  
 今回のテーマは、「インフラ～移動手段」です。  
 この連載を積み重ねていくことで、  
 いっそうベトナムを身近に感じていただけたら幸いです。



ベトナム社会主義共和国  
 面積:33万1,690km<sup>2</sup>(日本の0.88倍)  
 人口:9,270万人  
 (2016年、出所:ベトナム統計総局(GSO))  
 首都:ハノイ  
 (JETROホームページより)



ジェックグローバル事業推進部  
 グローバル推進チーム リーダー  
 まつやま だいすけ  
**松山大輔**

皆さんこんにちは。グローバル推進チームの松山です。今回は「インフラ～移動手段」に関する情報をお届けします。

ベトナムの移動手段でまず思い浮かぶのは、「バイク」ではないでしょうか。初めてベトナムに行った際、一番驚いたのは「バイクの多さ」です。移動手段としては一番多く使われていると感じます。車、バスもありますが、まだまだバイクが圧倒的な多さです。家族の移動手段にもなっているようで、

日本ではあまり想像できないと思います。が、三人乗り、四人乗りは当たり前です。家族仲良く乗車してドライブを楽しんでいる様子にも見えます。

物流インフラの発達はこのからのもので、バイクで色々な物資を運びます。積載量の制限がないのか、人の身長以上に積み上げて、必死に



# ベトナムの「ホンダ」!?



ジェック・ベトナム  
取締役／コンサルタン

## グエン・ティ・ホア・ムア

皆さんこんにちは。ジェック・ベトナムのムアです。松山が紹介したように、日本人がベトナムに行けばバイクの「多さ」に驚くと思います。最近、車の数も増えてきていますが、バイクは主な移動手段なので、ベトナム人の大人一人あたり約一台のバイクを持っています。一番流行しているバイクはホンダのバイクです。ベトナムに最初に進出した会社なので、南部の人は、バイクのことを「ホンダ」と呼んでいます。最近はやマハ車やスズキ車もあります。ホンダ車が一番人気です。

なぜなら、高級車から一般の安いものまでバリエーションがありますので、誰でも買えるからです。高いバイクは車より高いものもありますが、一般のバイクの値段は約10万円から60万円です。一番安いバイクで、ベトナムの最低賃金の5倍です。ベトナム人がバイクを買うのと日本人が車を買うのと同じ感覚ですね。

バイクの運転免許を取れるのは18歳以上の人なので、学生はバイクに乗れません。私が学生の時は自転車に乗りましたが、最近の学生たちは、電動自転車または電動バイクを使っています。日本の電動自転車と違い、人の力を全く必要としない自転車です。以前、知り合いの日本人は「この自転車を日本に持って帰りたい。買い物に使いたい」とおっしゃっていました。

とても便利なバイクや電動自転車ですが、ベトナム人は



それらに依存しているのです、運動不足に関する病気が増えてきています。交通信号などを無視する人もいるので、日本人にとっては道路を渡るのが大変です。多数のバイクが走っていますが、実は大都市のハノイとホーチミン市の人は比較的ゆっくり運転しますので、車が通っていなければ、普通に歩いて道を渡れます。ぜひ一度ベトナムに来て、バイクの「多さ」を味わってみてください。皆さんのベトナムへの旅を私たちがお待ちしております。

運んでいる姿は目を引きます。かなり重たそうな建設資材、大量の服、大量の水、大量の食糧、など。まさに生活に欠かせない物資をバイクで運んでいる光景をたくさん目にします。日本の戦後復興期のような光景で、必死に働き、経済が動いていることを肌で感じることができません。

一方で、車も年々増えていく印象です。タクシーだけでなく、私用車もバイクに埋もれながら走っています。まだまだ値段も税金も高いので、一般庶民に買える物ではありませんが、富裕層中心に増えています。

ホーチミン、ハノイでは電車を走らせる計画があるようですが、まだ完成されていません。建設スピードも日本と比べて遅く、完成はいつになるのだろうという感じです。国が主導でインフラ整備を推進しているようですが、遅れているようです。

日系企業が技術力を中心にお役立ちするフィールドはまだあります。